

小平市にふさわしい自治基本条例の制定を目指して

市民の会議が活発な議論を行っています

あなたも加参しませんか

なぜ 市民の会議に参加したの?①

- ◆みずからの経験を生かしたい
 - ★昔の厳しい教育を受け、戦争も体験し、多くの仲間を亡くして、命の尊さを実感してきた。今回の条例づくりでも、そうした人生経験を生かして取り組んでいきたい
 - ★生協や環境などの活動をしてきたが、地域の活動にあまり参加できなかった。昨年、都市計画マスタープランづくりに参加し、自分の考えを生かすことができた。自分の地域での活動などを生かしたい
 - ★ここ2年間で、小平市の市民活動（経営改革市民会議など）にかかわり始め、「協働」や「新しい公共」という考え方がテーマとなっている。その一環として条例づくりにも興味があり参加している
 - ★自治やその条文、憲法をテーマとした書籍を執筆したり、実際に条文をつくった経験があり、それを生かせればと思い参加した
 - ★自治体職員を対象とした、自治に関する雑誌の編集をしている。そこでの知識や情報が市民の会議にも生かせるのでは、と思い参加した

(議事録から抜粋)

自治基本条例とは
 平成12年に地方分権一括法が施行され、自治体においては地域の課題に対して、多様な担い手とともにみずから解決していく力が求められています。
 そのための自治運営の仕組みと、その基本的な原理やルールを定めたものが、自治基本条例です。

自治基本条例とは

市では、自治の基本的な原理やルールを定める自治基本条例の制定を進めるため、小平市自治基本条例をつくる市民の会議（市民の会議）と、2月3日に「策定における相互協力等に関する協定」を締結しました。

これから、市民の会議が、多くの市民や市と意見交換しながら、小平の地域特性にあった自治基本条例案を策定していきます。



あなたです
 市民の会議が活動中
 現在、54人の公募市民が参加しています。



市民の会議は、お互いの意見を尊重し合い、自由な発言を原則として、徹底した議論を行っています。また、条例案の策定

市民の会議
 定を締結し、いよいよ本格的に自治基本条例案の策定に向けて始動しました。自治の担い手としての市民が主体となって、小平市にふさわしい自治基本条例の制定を目指して、条例案を一から作り上げていきます。

なぜ 市民の会議に参加したの?②

- ◆市民参加
 - ★今回の条例づくりは議会傍聴で興味を持ったが、本当にやるのか半信半疑だった。その後、実際に市民参加の募集があり、ぜひやってみようと思い手をあげた
 - ★官制主義から地方分権という自治の時代に入った中での自治基本条例づくりに参加したかった。条例は通常、行政が提案し、議会を通過して制定されるが、今回は提案するまでのプロセスを市民が行う。市民として堂々と条例案を議会に提出できるよう取り組んでいきたい
 - ★学校では学校崩壊が起きていると聞いた。また、まじめに生きている人ほど悩みが多く、不安を抱えている。そうした人たちのためにも自分が参加することで何か変わればよいと思って参加した
 - ★行政は市民の意識から少し遠いと感じている。この条例づくりで市民の立場として参加して、市民の意識を行政に伝え、おもしろくしていきたいと思う
 - ★今回の条例づくりは完成版ではない。「第一歩」である。行政も市民も今回つくる自治基本条例をもとに、意識を変えていくことが大事だ
 - ★自治基本条例が自分たちでつくれるということに魅力を感じて参加した
 - ★税金を払っている市民が政治に何も言わない仕組みを直したい
 - ★地方自治の時代であるが、一方で国が無責任に地方にすべて委任する流れに危機感を感じて参加した
 - ★地方自治の流れの中で、受け手の市民がしっかりしないといけないと思い参加した
- ◆小平をよくしたい
 - ★わたしは緑の多い小平が好きで、こうした小平の大切なところを残していきたいと思って参加した
 - ★東久留米市に住んでいるが、生活圏は小平。よい小平を残したい
 - ★小平市は「ヘン」のないまち。みんなが小平市をどんなまちにしたいと思っているのか知りたくて参加した
 - ★小規模開発による「虫食い現象」が続く小平市の発展経過を見て、危機意識を持っている。「水・緑・空気・光」が小平市の宝だと思う。これらを小平市の「ヘン」にしたい
- ◆みんなで学んでいく
 - ★自治基本条例は、子育てや福祉など日常の問題を考えるうえで原点となるものだろう。今回の条例づくりを通して、現実を見つめていきたい
 - ★昨年夏、辻山先生の講演を聞いたことがきっかけになっている
 - ★10年以上小平市に住んでいて寝に帰るだけだったが「地域に貢献したい」と思い立ち地域での活動を始めた。この市民の会議を通してもっと勉強したいと思う
 - ★小平市に住みながら、小平市についてあまりよく知らないことに気づいた。条例づくりを通して、より深く知ることができるのではないと思う
 - ★社会教育の現場にかかわっている。市民の皆さんの意見を聞ける場に魅力を感じて参加した
 - ★福祉サービスの現場にかかわっている。福祉を自治の中にきちんと位置づけたい。地域の問題を地域で解決するためには、条例によってその土台づくりができないか、探していきたい



市民と市長の対話集会

タウンミーティング

参加してみませんか
 市民の会議は、傍聴できません。当日、直接、会場へお越しください。
 また、市民の会議への参加者も、随時募集しています。参加希望の方は、問合せ先へご連絡ください。
 開催日程 3月31日(土)
 午後7時から：福祉会館
 ※今後の開催日程は、小平市ホームページなどでお知らせします。

みどり
 平成18年度は、テーマ別に開催しました(下表)。会場へ出されたご意見の一部を紹介します。

子育て
 1歳までは親が世話をするべきだと考えている。育児休業のあり方や制度が問題だと思う。社会の仕組みを根本的に変えないといけない。
 支援策は充実してきたが、そこにつなげるための視点を広く持ち、閉じこもりがちな親を外に出していく取り組みを考えてほしい

健康
 運動は徐々に無理なく生活の中に取り込むことが大切である。食事は1日1回はおいしいものを食べ、ほかは質素にという、楽しんで食べる取り組みもある

開催日	会場	テーマ	参加人数
平成18年 5月13日(土)	中央公民館	みどり	18人
7月15日(土)	津田公民館	子育て	24人
7月22日(土)	小川西町公民館	まちづくり	21人
7月29日(土)	小平ふるさと村	ふるさと	12人
9月9日(土)	エコフェスティバル会場	ごみ	39人
10月8日(日)	市民スポーツまつり会場	スポーツ	28人
11月12日(日)	健康フェスティバル会場	健康	31人
平成19年 2月17日(土)	環境フォーラム会場	省エネ	36人

省エネ
 環境家計簿に初めて参加し8%も削減できた。個人の人が意識して取り組めば小平市は省エネの市となる

問合せ 秘書広報課 ☎042-9508